

## 9 日ロ地先沖合漁業交渉

日本とロシアとの間では、昭和 59 年 12 月に成立した「地先沖合漁業協定」に基づき、毎年、操業条件について日ロ漁業委員会が決定し、相手国 200 海里水域内に入漁しています。

平成 28 年 12 月の日ロ漁業委員会第 33 回会議では、以前から要望していたマダラ及びスケトウダラについては、前年同様の割当量が確保され、全体漁獲割当量は 6 万 5,135 トンとなっています。

### (1) 合意内容

#### ① ロシア 200 海里水域における日本漁船の操業条件等

##### ア. 相互入漁

区分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総漁獲割当量	62,096t	71,303t	62,395t	63,455t	※65,135.9t
総隻数	546 隻				

※ロシア側の国内手続終了後に追加となる 2,050t を含む。

##### イ. 有償入漁

区分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総漁獲割当量	5,098t	4,998t	2,026t	1,044t	※1,062.2t
総隻数	45 隻	45 隻	22 隻	22 隻	22 隻
入漁料	2 億 1,148 万円	2 億 1,148 万円	8,743 万円	3,368 万円	4,132 万円

※ロシア側の国内手続終了後に追加となる 17.5t を含む。

##### < 主な魚種別の漁獲割当量 >

魚種	平成 27 年		平成 28 年		※平成 29 年	
	相互入漁	有償入漁	相互入漁	有償入漁	相互入漁	有償入漁
スケトウダラ	1,500t	1,078t	500t	129t	500t	129t
マダラ	1,108.8t	190t	1,108.8t	190t	1,108.8t	190t
サンマ	51,370t	-	53,020t	350t	53,020t	350t
イカ	7,007t	150t	7,309t	14t	6,520t	14t
その他	1,410t	608t	1,518.1t	361.7t	1,937.1t	361.7t
計	62,395.8t	2,026t	63,455.9t	1,044.7t	63,085.9t	1,044.7t
	64,421.8t		64,500.6t		64,130.6t	

※平成 29 年分のロシア側の国内手続終了後に追加となる相互入漁 2,050t、有償入漁 17.5t の魚種別漁獲割当量については、H29.3 時点で未確定のため加算していない。

#### ② 日本 200 海里水域におけるロシア漁船の操業条件等

##### ア. 相互入漁

区分	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
総漁獲割当量	62,096t	71,303t	62,395t	63,455t	※65,135.9t
総隻数	101 隻	101 隻	101 隻	101 隻	89 隻

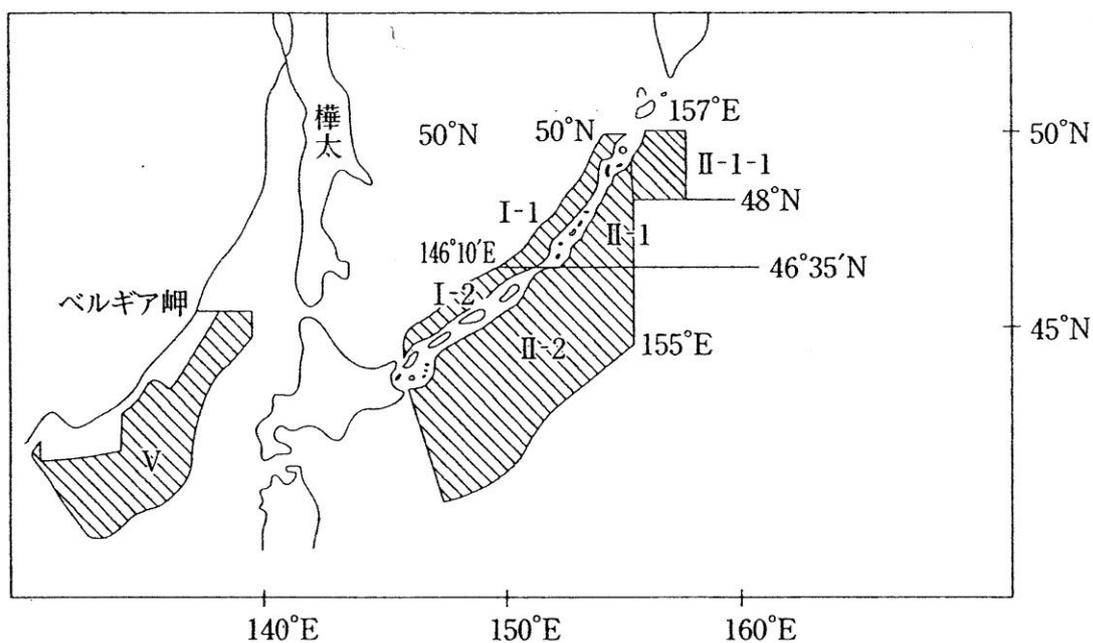
※ロシア側の国内手続終了後に追加となる 2,050t を含む。

##### < 主な魚種別の漁獲割当量 >

魚種	平成 27 年	平成 28 年	※平成 29 年
イワシ・サバ	13,296t	27,005.9t	26,635.9t
イトヒキダラ	27,800t	27,800t	27,800t
サンマ	21,299t	8,650t	8,650t
計	62,395t	63,455.9t	63,085.9t

※平成 29 年分のロシア側の国内手続終了後に追加となる相互入漁 2,050t の魚種別漁獲割当量については、H29.3 時点で未確定のため加算していない。

(2) 日口地先沖合漁業交渉操業海域図



○ 相互入漁水域		
I-1区	千島（オホーツク海側北）	底はえ縄
I-2区	千島（オホーツク海側南）	底はえ縄
II-1区	千島（太平洋側北）	中層トロール、底はえ縄、棒受け網
II-1-1区	千島（太平洋側北）	中層トロール、着底トロール、底はえ縄
II-2区	千島（太平洋側南）	底はえ縄、棒受け網
V区	日本海	いか釣り
○ 有償入漁水域		
II-2区	千島（太平洋側南）	着底トロール、中層トロール

資料：北海道水産林務部漁業指導課

注：II-1、II-1-1、の中層トロール・着底トロールは、遠洋底びき網、

II-2の着底トロール・中層トロールは、沖合底びき網